

ダマす悪代官

覚醒した無党派層の審判が下りた。ぶれまくった悪代官(官)に審判が下りました。主権は在民です。

我が国の賢明な国民は、米国を超える文化水準を一定証明したものです。

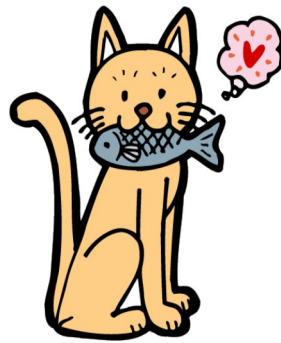
菅は財務官僚の茶坊主に取られ込まれ失政を重ねたのである。この程度の見識のトップが第三の敗戦を招く元凶です。

当然、日本の指導者は敗戦の悲劇を重ねるのです。

そもそも自民党を始めとする日本の保守は対米従属です。我が国の、真の保守は売国奴ではない。元第6航空団指令(小松) 田母神俊雄が党の心眼を見抜くポイントを語っています。

新の保守とは「日本派」を言う。自民党的なアメリカでもなく、民主党的な中国派でもなく「日本派」です。宮沢内閣以降の歴代自民政権はアメリカの「年次改革要望書」に従い、日本の企業文化を破壊した。終身雇用や年功序列を廃止、MBOの分割や郵政民営化、米の建築資材購入のため、建築基準法の改正や極めつけは保守の仮面のアメリカ派、小泉純一郎と竹中平蔵の「構造改革」路線で日本はとどめを刺された。この改革路線の5年間でGDPが約百兆円も落ち込み経済の活力が一気に落ちた。と指摘する。

(有)西川経営オフィスサービス
中村会計
事務所便り
 2010年7月12日(月) NO 125
 地域から明るい未来を作ろう



女は男無しでも生きられるが、男は女無しでは生きられない。ツキと安らぎを与え合

う「あげまんは」相性の問題です。それぞれがお互い相手を高め合う菩薩と四天王の関係です。

あげまん

条件

- 一、相手を立てること。
- 二、慎み深いこと。
- 三、文化教養度が高いこと。
- 四、がまん強いこと。
- 五、度胸があること。

これが満たされれば、外に向かって立ち向かうパワー

と自信がお互いに備えられます。「給与をもらう」という人と、「給与を取る」という人では本質的に発想が違います。もろう人は会社に依存し生きる人です。単なる賃金労働者、出稼ぎです。個々が事業主ではありません。

世界大競争の時代、生き残りのため、もろう考え方自体、相当遅れているといふべきでしょう。それが個人事業主の時代なのです。

アインシュタインの弟子が先生に「人は何のために生きていますか」と聞いた。彼はこの時物理的にも存在しているものは必ず他の物質に影響を与え

る。「人は他人のために生きています」と答えました。一人でも多くの人に幸せを与えるために人は生きています。

そして、お葬式は亡くなった人に「幸せを与え尽くした人に」幸せを与え尽くし

特攻の母



良きことのみを念ぜよ。必ず良きこと来る。何より大切なものがある、それは徳を貫くことである。知覧一鳥濱トメさん

太平洋戦争の末期、多くの優秀な若者が特攻攻撃と言う自殺で亡くなっています。自分の事での自殺ならば、出来なかつたでしょう。しかし、親や家族、郷土を守る為ならば、ほほ笑みながら潔く死んで行ったのです。自分だけの為ならば死ねなくて、他の為だからこそ死ねたのです。